

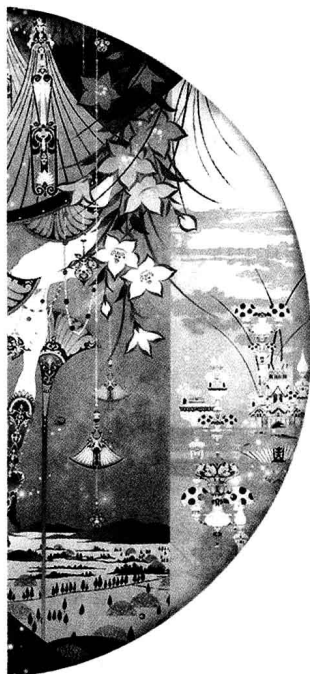
中国の若者は日本をどう見ているか

中国 青年 感知 日本

中国 青年 报社
财团法人日本科学协会
人民中国杂志社 主编

『笹川杯』 征文大赛获奖作品集





中国の若者は日本をどう見ているか

中国青年 感知日本

中国青年报社
财团法人日本科学协会 主编
人民中国杂志社

图书在版编目 (CIP) 数据

中国青年感知日本 / 中国青年报社, 财团法人日本科学协会, 人民中国杂志社主编. — 北京: 金城出版社, 2010. 12

ISBN 978-7-80251-677-9

I. ①中… II. ①中… ②财… ③人… III. ①中日关系-友好往来-文集 IV. ①D822.231.3-53

中国版本图书馆 CIP 数据核字 (2010) 第 201644 号

中国青年感知日本

主 编 中国青年报社 财团法人日本科学协会 人民中国杂志社
责任编辑 刘小晖
开 本 680 毫米 × 980 毫米 1/16
印 张 12.5
字 数 120 千字
版 次 2010 年 11 月第 1 版 2010 年 11 月第 1 次印刷
印 刷 北京金瀑印刷有限责任公司
书 号 ISBN 978-7-80251-677-9
定 价 28.00 元

出版发行 金城出版社 北京市朝阳区和平街 11 区 37 号楼 邮编: 100013
发行部 (010)84254364
编辑部 (010)64222699
总编室 (010)64228516
网 址 <http://www.jccb.com.cn>
电子邮箱 jinchengchuban@163.com
法律顾问 陈鹰律师事务所 (010)64970501

前 言

日本科学协会在日本财团的赞助下，以振兴科学、培养人才为目的，在日本及海外从事着各种事业。如资助年轻研究者的研究，开展青少年的科学体验活动，向海外大学捐赠图书等等。

“笹川杯·感知日本”征文大赛，就是上述事业中的一个重要部分。这项大赛由我财团与中国青年报社、人民中国杂志社合作进行，



大岛美惠子

自2008年开始实施，每年举办一届。这一征文活动举办的宗旨，旨在进一步唤起中国青年对日本的关心，从而加深相互理解。为了尽可能多地获取“对日本的感知”，征文大赛的征稿对象设定为16岁至45岁的广大青年一代，投稿语言中文日文均可。2008年和2009年的两届征文活动，在全中国范围内的影响巨大，应征作品总量超过15000篇之多。应征作者涵盖的社会层面十分广泛，应征作品反映了不同地域、年龄、职业、身份的中国青年对日本直率的想法。特别是获奖作品，可以说是反映中国人多彩日本观

的一面面镜子。无论是对中国人来说还是对日本人来说，这些作品都值得一读。

我们之所以将两年征文的获奖作品结集出版成书，是想让更多的人了解中国青年的日本观——让中国人了解自己的同胞是怎样看待日本和日本人，也让日本人知道中国人怎样看待日本和日本人。如果日中两国的众多读者通过阅读本书感觉对对方国家和人民感到比以往更接近了一步的话，我们的初衷就实现了，也将为此感到十分高兴。

此外，本书为双语出版，每篇文章均被对译成日文和中文。对学习日语的中国人和学习汉语的日本人来说，也许会有所帮助。

最后，对征文大赛和作品集的出版给予极大理解和支持的日中两国相关人员，对给予赞助的全日空航空公司，对给予后援的中华全国青年联合会、日本驻华大使馆、中日友好协会、中国高校传媒联盟，我们要表示衷心的感谢。同时，我们的合作者——中国青年报社和人民中国杂志社的有关负责人，为征文活动的举办和本书的出版都付出了巨大的努力，在此谨表深深的谢意！

衷心期待本书受到日中两国广大读者的喜爱。

财团法人日本科学协会
会长 大岛美惠子

まえがき

日本科学協会は、日本財団の助成をいただき、若手研究者の研究助成、青少年の科学体験、海外への図書寄贈など科学研究の振興と人材の育成に資する様々な実施しております。

「笹川杯作文コンクール—感知日本」も、こうした事業の一環として、当財団が中国青年報社、人民中国雑誌社とともに2008年から実施している日中協力事業です。中国の青年の日本への関心の喚起、理解の深化を主な目的とするこの「作文コンクール」では、出来るだけ多くの「感知日本」を汲み上げるため、募集対象を16歳から45歳までの広範な青年層に設定し、作品応募も中国語、日本語ともに可能としております。お陰さまで中国全土から多くの反響が得られ、2008年、2009年の2年間の応募者は合計で15,000人を超えましたが、これらの応募者がカバーする社会層は非常に広く、作品には様々な地域、年齢、職業・身分の中国の青年の日本に対する率直な想いが反映されています。特に入賞作品については、多彩な日本観を映す鏡とも言え、中国人にとっても日本人にとっても一読に値する作品です。

この度、「作文コンクール」の2年間の集大成とも言える「作品集」を出版するに至りましたのは、中国の青年の日本観を出来るだけ多くの人々に知っていただきたいと考えたためです。中国の人々に同胞の日本観を知ってもらおうと同時に、日本の人々にも中国人の日本観を知ってもらうことが、この「作品集」出版の大きな目的です。本書が日中両国の多くの方々にと

って、相手国とその国民をより近くに感じるきっかけになれば嬉しく思います。また、本書では各作品を日中対訳で掲載しておりますので、日本語を学ぶ中国の方々には日本語学習、中国語を学ぶ日本の方々には中国語学習の一助となれば幸いに存じます。

最後に、「作文コンクール」の開催及び「作品集」の出版に際しまして多大なご協力とご理解をいただきました日中両国関係者、ご協賛をいただきました全日本空輸株式会社、ご後援をいただきました中華全国青年联合会、在中国日本国大使館、中日友好協会、中国高校伝媒聯盟に対しまして、衷心より御礼申し上げます。また、共催者である中国青年報社の徐文新社長、人民中国雑誌社の徐耀庭社長をはじめ両社担当者の方々には多大なご尽力を賜り、深く感謝申し上げます。

本書が日中両国の多くの方々に愛読されることを祈っております。

財団法人日本科学協会
会長 大島美恵子

寄 语

值此“笹川杯·感知日本”征文大赛优秀作品集出版之际，谨表祝贺。

作为赞助征文大赛项目的日本财团会长，作为被作品深深打动的一名读者，看到两年来征文能取得如此丰硕的成果，我感到十分欣慰。在此，向中国青年报社、人民中国杂志社、财团法人日本科学协会表示衷心的祝贺！

征文大赛始于“日中青少年友好交流年”——2008年。在两国青少年增强交流与理解的大好形势下，以促进中国青年更加理解日本为主旨，该大赛面向中国全国的青少年，迈出了第一步。之后，中国虽然经历了汶川大地震、世界经济危机、北京奥林匹克运动会、上海世博会等历史性事件，但征文大赛始终让人感受着社会的变化，呼应着时代的潮流，迈着坚实的步伐走到今天。



笹川阳平

本作品集收纳了2008年度和2009年度的获奖作品。16名年轻作者有着不同背景，他们笔下的“感知日本”使读者体验到一种独特的力量。我就是被这种魅力所征服的人之一。每当我被作品深处所表达的真挚情感所触动时，就仿佛置身于他们各异的境遇，任由思绪驰骋，感受他们的日本观。

在这些作品背后，我们不能忘记还有超过15000篇有着独特观点的“感知日本”征文的存在。征文规模之大，遍及全国，作品来自22个省、4个直辖市和5个自治区。投稿者中有日语语言的相关者，更多的则是并非学习日语的学生和其他社会人，甚至有正在服刑的年轻人。在中国与日本有关的征文活动中，能获得如此大范围反响的征文大赛，可能是绝无仅有的。这说明中国年轻人对日本的关心度越来越高，同时也印证了日中间从国家到个人层面都有着不可分的关系。我认为在今后的日中关系里，民间层面的相互理解有着越来越多的重要意义。

日本财团除了举办征文大赛外，多年来在中国为培养担负未来的人才方面支援了很多项目，如向中国大学赠书、设置奖学金、接受医疗工作者研修、与军队相关人员交流等等。实施这些项目的重要理念之一，就是培养知日派。我们希望让更多的中国年轻人了解日本，以此加深民间层面的相互理解。为此，我们对“征文大赛”寄予两大期望。一是通过书写作品加深对日本的理解，二是通过阅读和鉴赏作品唤起大家对日本的关心。前者只限于投稿者，后者则覆盖这些征文作品的所有读者。我想，依据此观点，本作品集蕴藏着无限的力量，应把这力量发挥到极致。我希望通过了解中国年轻作者展示的日本观，使更多的中国年轻人了解日本，关心日本。同时，也使更多的日本年轻人重新认识日本，了解中国。

国际化的进程使日中关系日益紧密，确立日中关系的未来走向成为重要课题。我认为，解决此事的关键在于“对差异的相互理解”。我殷切期望日中两国通过知晓相互之间的差异，不断努

力加深相互理解，从而确立日中关系的未来走向。

最后，向为本作品集的出版做出巨大努力的日中两国相关人员、对“征文大赛”的工作人员及投稿者，表示由衷的感谢。

日本财团
会长 笹川阳平

に寄せて

「笹川杯作文コンクール—感知日本」優秀作品集の出版、おめでとうございます。

この「作文コンクール」事業を支援させていただいている日本財団の会長として、また各作品に深い感銘を受けた一読者として、この度、2年間の成果が見事に結実したことに大きな喜びを感じますと同時に、「コンクール」の主催者である中国青年報社、人民中国雑誌社、財団法人日本科学協会に対しましては、心からお祝いを申し上げたいと存じます。

この「作文コンクール」は、「日中青少年友好交流年」の2008年、両国青少年の交流促進と理解増進の機運の高まりの中、中国の青年の日本理解の深化を主な目的として中国全土に向け作品募集を開始しました。その後、中国には四川大地震、世界金融危機、北京オリンピック、上海万国博覧会など様々な歴史的出来事が有りましたが、「コンクール」は社会の変動を感じながら時代の流れに呼応して着実に歩を進めて参りました。

今回、作品集に収められているのは2008年度と2009年度の「コンクール」の入賞作品等ですが、様々な背景を持つ16名の若者が綴った“感知日本”には、読む人を惹きつけて止まない独特のエネルギーがあります。私もそうした魅力に心を動かされた一人であり、作品の底にある真摯な精神に触れる度、それぞれの境遇に思いを馳せながら、彼らの日本観を感受したものです。

しかし、これらの作品の背後にはそれぞれの独自の観点から捉えられた15,000点を超える“感知日本”の存在があったことも忘れてはなりません。作品は、22省、4直轄市、5自治区と全国規模で寄せられ、応募者は、日本語関係者はもとより日本語とは関わりのない多くの学生や社会人、さらには更生訓練中の若者にも及びました。中国においては、日本に関する作文コンクールでこれほど広範な反響を得たコンクールは未だかつてありません。このことは、中国の若者の日本に対する関心の高さを示すものですが、同時に日中が国家レベルから個人レベルに至るまで不可分の関係になっていることを裏付けるものであり、民間レベルでの相互理解が今後の日中関係において益々重要な意味をもつてくると考えられます。

日本財団は、この「作文コンクール」を始め、中国の大学等への図書寄贈、奨学基金の設置、医療関係者の研修、国防関係者の交流等、日中の将来を担う人材を育成するための様々な事業を長年に亘って支援して参りましたが、それらの根底にある重要なコンセプトのひとつとして知日派の育成ということがあります。私共は、一人でも多くの中国の若者に日本を知ってもらい、民間レベルでの相互理解を深めていきたいと考えているのです。そのため、私共は、この「コンクール」に2つの大きな効果を期待しているのです。1つは作品執筆による日本理解の深化であり、もう1つは作品鑑賞による日本への関心・理解の喚起です。前者の効果については、応募者限りですが、後者のそれには限りがありません。こうした観点からも、この作品集には無限の力を秘めており、この力は最大限に活かすべきであると考えております。中国の若者が綴った日本観を通じて、多くの中国の若者に日本を知ってもらうこと、関心を持ってもらうこと、また、多くの日本の若者にも日本を再認識してもらうこと、中国を知ってもらうことを願っております。

グローバル化の進展により日中関係がますます緊密化する中、未来志向の日中関係の確立が重要な課題となっておりますが、これを解くキーワードは“違いに対する相互理解”であると考えております。日中両国が、互いの違いを知ることにより互いに理解する努力を継続し、未来志向の日中関係が確立されることを切に願っております。

最後に本作品集の出版にご尽力された日中両国の関係者、「コンクール」関係者及び応募者に深甚なる敬意を表します。

日本財団
会長 笹川陽平

目 录 もくじ

- 飘走的蒲公英 \1
風に舞うタンポポ \4
访日感想 东京人:生活在地下 \7
東京人は地下に暮らす \8
- 无形大手催你前行 \10
中国の一農民から見た日本 \13
访日感想 不能忘却的悲惨场景 \16
忘れられない悲惨な光景 \17
- 一封来自日本的致歉信 \18
日本から届いた一通の詫び状 \21
访日感想 不同城市的不同表情 \25
街ごとに異なる表情 \27
- 忘不了张纯如的眼神 \29
忘れ得ぬ張純如の眼差し \32
访日感想 在音乐和花朵中体验冲绳 \35
音楽と花々から沖縄を体験 \36

中国青年感知日本\ 2

感恩的心 \38

恩に感謝する心 \41

访日感想 在细微之处寻找中日发展的差距 \44

僅かなことから中日の発展の開きを探る \46

和孩子们一起“品读”日本 \48

子供たちと一緒に“品評”する日本 \51

访日感想 日本的大与小、多与少 \54

日本の大小と多寡 \56

Country Road —— 乡间之路 \58

カントリー・ロード \62

访日感想 重新认识日本 \66

日本をあらためて理解する \67

大地震之后,中国的对日观改善了吗 \69

大地震の後、中国での対日観が改善されたか \72

访日感想 什么都是新奇的 \75

あらゆるものが新鮮 \76

中日友好需要更多的“知日派”、“知中派” \78

中日友好には更に多くの“知日派”、“知中派”が必要 \84

迟到的感谢 \92

遅れてきた感謝 \95

访日感想 一个警察眼里的日本 \98

—警察官が見た日本 \100

工藤先生和我的教师梦 \102

Aさんと私の教師への夢 \105

访日感想 博物馆里的孩子和老人 \108

博物館の子供とお年寄り \110

种草农民学日语 \112

日本語を学ぶ農民 \115

访日感想 做事不嫌小 \119

小さいことを嫌がらない \121

那个改变我人生轨迹的动漫镜头 \123

人生を変えたアニメのワンシーン \127

访日感想 “徐行”和“汤” \131

“徐行”と“湯” \133

我的日语缘 \135

日本語との縁 \138

访日感想 和日本文女大学生交朋友 \141

日本の女子大生との交友 \143

我参加了日本的小发明比赛 \145

日本の発明工夫コンテストに参加して \148

中国青年感知日本\ 4

访日感想 广岛风景一缕 \151

広島の風景のひとすじ \153

人与人的联系 \155

人と人のつながり \159

访日感想 无处不在的温情 \162

いたるところにある思いやり \163

日本印象 \164

日本のイメージ \166

访日感想 推倒历史的厚墙 \168

歴史的な厚い壁を押し倒す \169

年轻人要多发现中日间的差异 \170

若者は中日の違いをたくさん見つけるべし \174

后 记 \178

後 記 \180